

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立仰木中学校

○調査目的

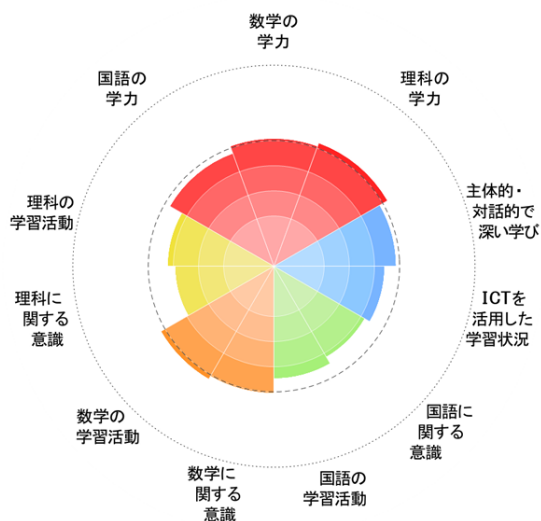
- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

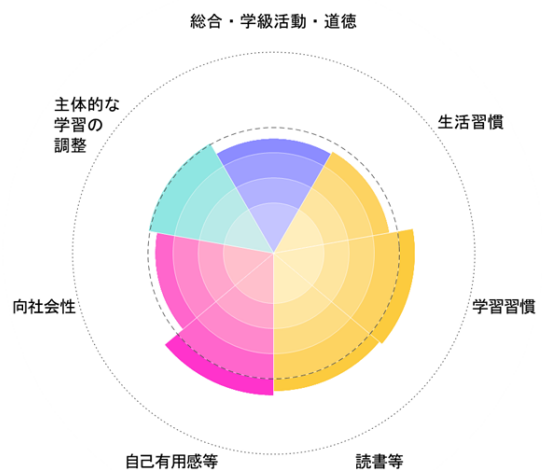
学力調査では、理科の正答率は県・全国平均ともに上回っているが、国語・数学の正答率は全国平均をわずかに下回る結果となった。

生徒質問紙調査の『学習習慣』では、平日1日あたりの家庭学習時間（塾等を含む）が「2時間以上」の回答が全国平均を10ポイント以上上回ったが、毎日の同じくらいの時刻に寝ているかという質問には、「している」の回答が全国平均を下回る結果となった。国語・理科の『興味・関心』においては、「得意か」「好きか」「よく分かるか」の質問では、全国平均を下回った。また、昨年度までにICT機器をどの程度使用したかという質問では、「ほぼ毎日」の回答が全国平均を35ポイント以上下回る結果となり、ICT機器を活用しきれていない現状がある。『自己有用感』は、昨年度から一転して全国平均を上回っており、人間関係や学校生活への満足度が高く、自己肯定感も高くなっている。

〔教科を中心とした学力・学習状況〕
(全国基準)



〔その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）〕
(全国基準)



【強み】

- 国)** 短答式・選択式の正答率が高く、文章の内容把握や場面設定の理解に長けている。
- 数)** 「思考・判断・表現」の正答率は全国平均よりやや高く、論理的思考力に一定の強みがある。
- 理)** 観察・実験に基づく知識・技能の定着、身近な現象の説明で県・全国平均の正答率を上回る安定した定着度がみられる。

【弱み】

- 国)** 「書くこと」の領域の正答率は全国平均を下回り、文章構成や意図表現に課題がある。
- 数)** 「データの活用」の領域は全問で正答率が全国平均を下回り、データから必要な情報を抽出したり、具体的な数値を用いて数学的に説明したりすることに課題がある。
- 理)** 「記述式」や「探究的思考」を問う問題で、論理的な説明力や構造理解に課題がある。

【指導の充実に向けて】

- 国)** 作文等書く機会を増やし、「思考プロセス」の言語化を大切にする。
- 数)** 資料の分析がしやすくなるように課題提示を工夫し、考え方や理論を表現・説明させる機会を多く設定する。
- 理)** 身近な科学現象との結びつけや体験型アプローチの拡充をする。